



寺院名物シリーズ② 勝福寺（鳥取伯耆組）

当山の現本堂は、明治七（一八七四）年に旧米子城主荒尾但馬守の菩提所である英智山願功寺（黄檗宗）が廃寺となり、これを購入して移築したものです。真宗寺院には数少ない二層構造の屋根をもっているのはそのためです。それ以前の本堂及び全伽藍は、享保七年と嘉永七年の二度の火災によって焼失しており、その再建は積年の念願でありました。

本堂移築に際して、本堂の四方に椽を付設し、内陣は真宗様式に改修されていますが、今も古瓦や彫刻・釘隠し等に荒尾家の「九曜の紋」が残っています。古瓦の刻銘によれば、この本堂は元々は万延二（一八六一）年春の建築のようです。梵鐘の再鑄と鐘楼改築は明治三三年のことでした。

山陰

編集 御同朋の社会をめざす運動
発行 山陰教区委員会
〒690-0001 松江市大正町四三ノ一
TEL 〇八五二 27 21 本願寺山陰教室
FAX 〇八五二 27 47 山陰教区事務所
発行所 野川 大卓

「御同朋の社会をめざす運動」 （実践運動）の想い

御同朋の社会をめざす運動
山陰教区委員会

副委員長 高野 顕 信

「新たな始まり」の下、宗門では混沌とした時代に、どう存在意義を見出し、何を発信していくか、問われるスタートが切られました。従来、

教学伝道の有り様・寺院活動の有り様・寺族の姿・社会活動との対応を考えることが不可欠のように思われます。）

培われてきた「基幹運動」の成果から、更に地に着いた御法義相続、ひいては心豊かに生きる社会の実現を目標として、「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）が主眼として展開されることになりました。不確定な面、生煮えの感がある印象の中で、当教区の少子高齢化・人口動態も好転が見込まれない状況・それに併って人心の変化に生きるローカルの宗門人としては、単にそれを指摘・傍観するだけでなく、個（寺）として、組織（組・地域）として、出来ることを実践し、点検・評価し、次のステップへと繋げていかねばと思うことです。指示待ち・マニュアル待ちの姿から、自ら企画立案する修練への変革が求められ、住職・寺族僧侶・門信徒の姿勢が問われるように思うのですが…。（私自身、既得権に固執し、現状の変革を望まない姿があったのではと反省しつつ、今後、

当教区では「日常の寺院活動」を実践目標に掲げ、地域と寺院との繋りを大切に「み教えを灯火として、全寺院において、既成の形にとらわれない、地域の人が訪れやすい寺院の環境をつくり、お寺を中心とした新たなコミュニティづくりをめざす。」目標を立てました。各寺の歴史・地域差・御法義相続には、個々の特徴がある中で、今後どのように寺の伝道づけがなっていくのか、試行錯誤しながら、一ヶ寺・一ヶ寺が「ここにみ教えあり、浄土真宗の寺あり」の発信を願うことです。その発信こそが、教区内二十組の実践目標の具現化であり、「日常の寺院活動」そのものと考えるところです。

本年度は、まず、共に周知徹底し、問題意識を喚起・共有し、次年度からは活動の進捗状況を点検・評価し、地道に前進できる一助となることを念願しております。

少年指導者研修会

八月二十四日(金)に江津組光善寺において「教区指導者研修会」が開催されました。今年度より役員改選により常任理事が新たな顔ぶれとなり、指導者研修会の方針も変更してゆくという運びとなりました。

従来は「ほとけの子どもの集い」と「教区指導者研修会」を別々の行事として行ってきましたが、この二つを一体化させ、「教区指導者研修会」に子どもに参加してもらい、子ども会を行いながら指導者が学べる研修会として進めていくこととなりました。

今回は初の試みということで、連盟理事長のお寺である江津組光善寺を会所とさせていただきます。そして参加者の子どもたちには、光善寺の子ども会に参加している子どもたちに集まっていただきました。

当日は天候にも恵まれ、集合時間に合わせて夏休み真っ盛りの子どもたちが元気よく集まってきました。最初は知らない大人たちがたくさんいて戸惑っている様子の子どもたちでしたが、「お寺でサイエンス」という糸電話やゴム風船等を使った科学実験やゲーム、休憩時間の雑談や遊びなどにより子どもたちとの距離がなくなっていくのを感じました。時間が進むにつれてスタッフも童

心に戻ったのか、子どもも大人も関係なく入り混じって遊ぶ様子が見られ、最後まで笑顔の絶えない研修会を行うことができました。

今回は初めての試みでいろいろと心配もありましたが、子どもたちの「楽しかった!」「またね!」などの声を聴くことができたので、そのような心配も吹き飛んでしまい、次回の研修会につなげる力となりました。

寺院仏壮結成に向けた研修会

九月二日(日)に大田市の「島根県立男女共同参画センターあすてらす」にて、寺院仏壮結成に向けた研修会が行われました。仏教壮年会連盟組織拡充委員の兼本俊二様より、寺院仏壮結成に向けた研修会についての趣旨説明をいただき、続いて大田東組立善寺仏教壮年会会長の和田徳様より、仏壮として普段どのような活動、行動をしているのかという活動事例発表をいただき、最後に仏教壮年会連盟活動推進講師の藤井邦麿師の講義と協議会のまとめが行われました。

この研修会の後、参加した寺院より単位登録が行われ、大きな成果を残せた研修会となりました。

二〇二二(平成二十四)年度山陰教区僧侶研修会

期 日…二〇二二(平成二十四)年

八月二十九日(水)・三十

日(木)

場 所…出雲市民会館 三〇一研修室

講 師…安藤光慈先生(本願寺派司教)

講 題…「阿弥陀経にみる浄土の教え」

参加者…二十九日(六十八名) 三十

日(六十名)

馴染の深い『阿弥陀経』を講義いただきました。対告衆、浄土三部経の対告衆と機、六方便の意味、出家の仏道と在家の仏道、阿弥陀経の特性、阿弥陀経が説かれた目的、その他講義をいただきました。

二〇二二(平成二十四)年度山陰教区勤式講習会開催

期 日…二〇二二(平成二十四)年

八月三十日(木)

場 所…出雲市民会館 三〇一研修室

講 師…能美顕之先生(山陰教区勤式

指導員)

講 題…「御文章を中心に」

参加者…六十名

なぜ、大谷派の「御文」に対し本願寺派では「御文章」と呼ぶのか。その他歴史、伝承唱読音、いつから勤行後に読まれ、節がついたのかなど一通り学び、最後に実唱の講義もいただきました。

伝統ある京佛具を後世に伝えたい

浄土真宗本願寺派仏具専門店
寺院用 在家用 仏壇 仏具 記念品



株式会社

古田た佛具製作所

営業時間／午前9時より午後5時30分 定休日／日・祝日

〒600-8227 京都市下京区七条堀川上ル菱屋町(西本願寺前)
TEL(075)343-2341 FAX(075)343-0836
<http://www.furuta-butsugu.jp>



Your Global Lifestyle Partner

株式会社JTB中国四国
松江支店

住所：〒690-0003

島根県松江市朝日町480-8 松江SKYビル1F

TEL：0852-23-2020 (国内旅行)／23-2024 (海外旅行)
0852-23-6720 (団体旅行)

FAX：0852-23-2023

「実践運動公聴会」開催

期日…二〇一二(平成二十四)年

九月十一日(火) 一三時

〇〇分～一五時三〇分

場所…本願寺山陰教堂 本堂
宗派出向者…

・中戸康雄(総務)

・尾井貴童(統合企画室次長)

・満井秀城(教学伝道研究室長)

・榮 俊英(寺院活動支援部長)

・桂 正道(重点プロジェクト推進室賛事)

・佐藤浩紹(統合企画室賛事)

座長…小笠原寧之(山陰教区教区会議長)

進行…

・野川大卓(山陰教区教務所長)

内容…

一、新たな宗門基本法規の施行に伴う宗務組織について

二、重点プロジェクトについて

参加者…五十三名

意見…

○重点プロジェクトのテーマ「そつ」「ホッ」は感覚的で、テーマにそぐわないのでは?

○公聴会の開催が遅かったのではないかな。

○基幹運動の時は良くも悪くも宗派、教区、組という一連の流れの中、統一感があつたけれども、このたびの実践運動では、それぞれ

がバラバラに見えるのがいなか?

○重点プロジェクトに示されている

実践目標は、宗教性が感じられない。社会に迎合するだけで、教団

が教団である意義がうすれてしまった気がする。

○重点プロジェクトには差別問題などが書いてない。門徒にどう伝えるのか。

その他多数の熱心なる意見・質問がありました。

それぞれ、担当出向者から返答があり、最後に中戸康雄総務から、次のように総括がありましたので、箇条書きに要約し、まとめさせていただきます。

・この度の重点プロジェクトは、行き着くところ、宗祖のみ教えが本

当に人々の拠り所となっているのかを考え、それぞれが実践していくことにあります。

・基幹運動については六年の歳月をかけて点検総括を行い、変えては

ならないもの、変えるべきものを取捨選択しました。差別の問題や、

門徒推進員に関すること等、経常部門で行います。

・実践運動の総合基本計画は、原案を旧基幹運動推進本部で作成し、

臨時宗会で議決し、三月二十七日総局が最終判断し、決定したものと

です。そして七月十日に具体的なリストを発表しました。順を追って、できるところからスピード感をもつて進めていこうというものです。

・テーマはひとつが良かったとも聞きます。本当にそうでしょうか。大変申し訳ないが、今まで上意下

達と言われてきました。各教区、各組、それぞれの歴史があり、事情があります。これからは、全員で行っていただく実践運動です。

バラバラに見えても、実はご法義でまとまっている、そういう運動を展開していきたいと思います。

2012全国真宗青年の集い 四国大会 in 香川

七月二十八日(土) 二十九日(日)

の二日間にわたり、香川県丸亀市にて「2012全国真宗青年の集い四国大会 in 香川」が開催されました。

開催テーマは「絆くずつとつながっていた。そしてこれから」。山陰教区からは七人の参加。バスをチャーターし、うどん県骨付鳥市(丸亀市のこと)に向かいました。

初日は丸亀市民会館大ホールにて開催。開会式の後、スペシャルトークセッション「世のなか安穏なれ2012」。パネラーは香山リカ氏、上田紀行氏、池坊由紀氏。コーディネーターは釈徹宗師。「現代社会と仏教」について、それぞれの立場から意見を述べられました。

三浦明利さん、ふくい舞さんによる音楽ライブもあり、大いに盛り上

がりました。

二日目は、オークラホテル丸亀での開催。勤行・法話の後、釈徹宗師の進行によるグループディスカッションが行われました。

学びを得ることができ、また、他地域の仏青の皆さんと交流を深めることができました。

の大会となり

ました。



—寺族婦人研修会—

「お寺で役立つカウンセリング研修に参加して」

佐波組 明光寺 西原加奈子

カウンセリングと浄土真宗というのは、心理学において関係性が深く、興味を持ってカウンセリングの基本的姿勢について学ぶことができました。

私は仕事柄、寺族十看護師という立場から命について問いかけられることがあります。先日も「阿弥陀さまは救つて下さらんかな。苦しくて、死にたくても死なれんし。」と抗癌剤治療をされている患者さんに問われることがあります。その時私は、「阿弥陀さまは実際の痛みは取り除いて下さらないかも知れないけど、いつ

「も側で護つて下さっていますよ。」と答えることしかできませんでした。後でそれが正しかったのか悩みましたが、やはり相手に寄り添い、共感する、話を聴くことしか私にはできないなあと思つたのが結論でした。研修を通して、命の現場で働いている私が阿弥陀さまに近い所で生活できていることの幸せも実感しました。まだまだ法師として初心者ですが沢山の坊主の方の話を聞き、私自身阿弥陀さまに護られている人生を喜びながら過ごしていきたいと思います。

—第五十七回中・四国仏婦大会—

キラッと輝く仏婦を目指して

飯南組 一念寺 大森 さやか
親しみを感じました。

親しみを感じました。

あなたが輝いている時ってどんな時ですか？ 仕事に子育て、趣味……人それぞれ輝く場面があります。私は私が私らしくいられる時が輝いている時だと思っています。このたび、初めて参加した「第五十七回中・四国地区仏教婦人会（若婦人）大会」。「仏教婦人会」と聞き、とても難しい会なのではないかと思っていました。しかし、テーマを見ると「キラッ、出会い！ 発見！ 私がかわれる～みんなでつくりあげよう～」と書いてあり、

都路恵子先生の講演「あなたがあなただけの輝く時」。「仏教研究家」としての活動をされながら輝いていらつしやるのが講演を通して伝わってきました。印象的だった言葉は「自分の悩みは自分自身が作りだしている」ということ。「自業自得」という言葉、仏教用語と聞き、興味深いなと思いました。さまざまな教えを日々に見聞きし、私も「キラッと輝く仏教」を目指していきたいです。

中・四国ブロック
講社議員研修会

期 日 二〇一二年（平成二十四）年

十月一日（月）午後一時より二日（火）正午まで

場所.. 旭温泉ホテル川隅

山陰代表..瀬頭龍平

法話講師・服部竟爾師（浜田組清岸

寺前住職

基調講話・・「本願寺と講社の新たな

歩み」和治教文（本願寺
執行）

協議会…テーマ「新たな歩み」(親

鸞聖人七五〇回大遠忌法要
を機縁としてゝ

参加者..四十七名（山陰教区十名..

事務局含む)

恒例のブロック講社講員研修会がありました。今回から本願寺執行並びに全国講社会長が同席されての研修会となりました。講師の服部先生からは、安芸門徒のお話、山陰の妙好人のお話を順序だてて分かり易くお話をいただきました。協議会では講社のこれからをどうするか、積極的かつ建設的な意見が多くありました。最後に下原会長から、親様ご開山聖人や蓮如上人のご恩に報いるため、講社としての活動をさせていただくという気持ちが大切ではないかと、先人たちの跡を慕って頑張ってくださいと激励をいただきました。

御本山 近 用達

株式会社

川勝法衣店

フリーダイヤル 0120-075-055

(600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367 (代)

FAX (075) 371-5088

御本山御用達 開明社員



井筒法衣店

代表取締役社長 **幾田潤**

(〒600-8503) 京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)

フリーダイヤル TEL 0120-075-720

フリーダイヤル FAX 0120-075-490

襦袴式
徒兒衣一
門稚念
珠·稚念
旗念棒記

裳袴袍帳
袈裟切布戶
條條衣敷
七五色黑打

第八回ビハーラ活動 第四連区集会

三年に一度開催される、第四連区の集会が今回は備後教区の担当で、「みんなが安心していきるために」の大会テーマのもと、十月九日(火)・十日(水)に開催されました。参加者総数一四九名(安芸五・山口九・山陰一・四州二・備後一二二)でした。

一日目の基調講演は「高齢化社会とビハーラ活動に期待すること」

ビハーラ花の里病院・理事長 和泉唯信医師。そして、夜は懇親会での地元会員の美しい仏教讃歌の調べ。

二日目の講義①「初対面の方とのコミュニケーション」老人ホーム寿園・荒木和美ケアマネージャー。講義②「聞いて得する介護予防のはなし」永谷洋理子健康運動指導士。

午後はビハーラ花の里病院見学(希望者のみ)以上のとても充実した研修会でした。

三年後は四州教区(四国)で開催されます。

印象に残った言葉、司会者の「一同合掌礼拝」ではなく、「皆様お念仏もうしましう」

山陰教区仏社会連盟結成三十周年記念大会

山陰教区仏社会連盟では、平成二十四年十一月四日、松江市内のごにびきメッセに於いて、結成三十周年記念大会を開催致しました。

大会には浄土真宗本願寺派仏教壮年会連盟理事長三嶋統吾氏、浄土真宗本願寺派仏教壮年会連盟活動活性化推進講師松月博宣氏をはじめ多数のご来賓ご臨席のもと山陰各地から約二百名が出席し盛大に開催されました。

式典では、下迫紀弘元理事長と杉本健治前理事長に表彰状が三村善信元副理事長に感謝状が授与され、結成三十年以上の四十九寺院仏教壮年会に表彰状の授与があり長年の功績と活動が称えられました。

続いて、記念講演では松月博宣氏による「願いにいきる」との演題で、私達は阿弥陀さまの願いの中で生きている、その願いとは凡夫を仏にさせたいと言う願いであり、私達の命をそのままに浄土に生まれさせ仏の悟りを開かず願いであり、そのみのりをしっかりと受け止め、その喜びを次世代に伝えて行く事が仏教壮年会の大きな役目であると、ご講演をいただきました。

続いて事例発表で、鳥取因幡組願正寺房安薫様、神門組乗光寺川上光

久様、江津組西教寺岡本章夫様から活動状況の発表をいただき三嶋統吾理事長からは、連盟としての寺院仏社の結成に向けた取り組みについてお話をいただきました。

山陰教区仏教壮年会連盟結成三十周年記念大会を大きな節目として、明日から気持ちを新たに組織の拡充を図り、「御同朋の社会を目指す運動」を推進すると共に、本大会のテーマ「ひろめよう ふかめよう 朋友の輪を」を合言葉に更なる発展を期する大会となりました。



本願寺山陰教堂 参拝について

本願寺山陰教堂(松江市大正町四四三二)においては、随時参拝の受付をしております。

これまでも、教区内で寺院の団体参拝を多数いただき、北海道、大阪、九州など全国各地のご寺院からもご参拝をいただいております。

また、教堂のある松江市には、昨年、中村元記念館ができました。仏教について学びを深める研修旅行を計画されるのも良いのではないのでしょうか。

松江市周辺は見どころも多く、お寺によっては、教堂参拝後、松江城・松江堀川遊覧船・玉造温泉・由志園・水木しげるロード・島根ワイナリーといった観光スポットを回るコースを作られることも多いようです。

教堂には大型バス二台が入る駐車場もありますので、ご利用くださいませ。

なお、研修会・会議など教区行事との兼ね合いもありますので、

ご参拝の折には、事前に教務

所までご連絡願います。(山陰教区教務所…電話

〇八五二二 二一四七四七)



山陰寺族野球部が準々決勝進出 第三十六回全国寺族青年軟式野球大会

鳥取伯耆組 善證寺 前田

努

二〇一二(平成二十四)年九月二十六日(水)～二十七日(木)に京都府久世郡久御山町のみどりが丘球場にて、第三十六回全国寺族青年軟式野球大会が開催されました。今大会は三十二チームが参加し、山陰教区からも山陰寺族野球部が参加し、両日ともに天候に恵まれたみどりが丘球場にて熱戦を繰り広げました。

今季の山陰教区野球部は、四月に行われた中四国ブロック寺族青年野球大会で優勝し、また七月に行われた中国五県のトーナメント戦でも一位を収める好成績で勢いに乗っており、一回戦長野教区と国府教区連合チームに十対〇と投打がかみ合い快勝。その勢いで続く二回戦山口教区に五対〇と勝利を収め準々決勝に駒を進めました。対戦相手の大阪教区に好ゲームをしたものの僅かに及ばず七対八と残念ながら準決勝に進めませんでした。

それでも山陰教区寺族野球部らしい戦い方はできたと思います。選手のプレーを陰で支えた監督・コーチ陣、大会運営を支えた山陰教区の方々、また選手宣誓でもありました、今大会のために気持ち良く選手を送り

出していたいただいた皆様、本当にお疲れ様でした。そしてこの全国寺族青年野球大会にていただいた新しい出会いに感謝し、来年もまたいい試合が行えるように頑張りたいと思います。

「日程」

二〇一二(平成二十四)年

九月二十五日(火)

監督会議・組み合わせ抽選会

二〇一二(平成二十四)年

九月二十六日(水)

開会式・一回戦～二回戦

二〇一二(平成二十四)年

九月二十七日(木)

準々決勝～決勝・三位決定戦

「会場」

京都府立山城総合運動公園 太陽が丘球場

京都府立府民スポーツ広場 みどりが丘球場

二回戦

「試合結果」

一回戦 山陰教区十対〇長野教区

二回戦 山陰教区五対〇山口教区

準々決勝 山陰教区七対八大阪教区

本願寺山陰教堂 落慶記念法要

二〇一二(平成二十四)年十月十九日(金)、本願寺山陰教堂本堂にて「本願寺山陰教堂落慶記念法要」を勤修いたしました。この法要は、昭和五十一年、本願寺直属寺院として本願寺山陰教堂が建立されたことを記念し、毎年十月にお勤めされている法要です。

日中法要は宗祖讃仰作法(第一種)、建夜法要は宗祖讃仰作法(音楽法要)。松江組内を中心とした御法中並びに山陰教区雅楽声明の会「雅龍会」の皆様により御出仕戴き、お勤めをさせていただきました。

ご講師は、長谷川三界雄師(四州教区高知西組円教寺)。松江組眞光寺の坊守さまのご協力をいただき、お昼には、仏教讃歌の練習を行いました。

およそ七十名のお参りをいただきました。多数のご参拝有難うございました。



親子で読んでほしい

有福の善太郎

好評発売中! 1冊800円(税込)

妙好人有福の善太郎さんのお話が親子で読んでいただける本になりました。寺院様をはじめ、ひろく門徒様、ご家族でお買い求めいただきますようご案内いたします。ご注文は下記の電話かFAXにて承ります。



ハーベスト出版

〒690-0133 松江市東長江町902-59

TEL(0852)36-9059 FAX(0852)36-5889

株式会社谷口印刷 〒690-0133 松江市東長江町902-59

手をあわせ 心あわせて しあわせに

報恩

感謝



ぶつだんの

内田恵造商店

・木次・

・下熊谷・

・出雲・

☎0854-42-0266

☎0854-42-3711

☎0853-21-3253

実践運動経過報告

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)

山陰教区総合基本計画

基本理念

宗祖親鸞聖人は、混迷した世の中に、阿弥陀如来に等しく救われていく往生浄土の教えを示してくださいました。そして苦悩する人々と共に「御同朋・御同行」の精神でお念仏の教えを広く伝えていかれました。宗門にかかわる全ての人々がそのお心を受け、教団の抱える課題克服のために、「御同朋の社会をめざして」という目標を掲げ基幹運動(門信徒会運動・同朋運動)に取り組み、力を尽くしてこられました。

実践運動は、基幹運動が積み重ねてきた成果を大切に継承し、さらに未だ解決できない諸問題を克服するために、具体的な達成目標を設定し、宗祖親鸞聖人のみ跡を慕い、自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現をめざし活動を展開していきます。

山陰教区 重点プロジェクト

総合テーマ

そとつながる ホッがつたわる

く結ぶ絆から、広がるご縁へ

重点プロジェクト

実践目標

日常の寺院活動・地域と寺院とのつながりを大切にする

期 間

二〇一二(平成二十四)年度

二〇一四(平成二十六)年度

達成目標

み教えを、混迷の社会を導く灯火として高く掲げながら、全寺院において、既成の形にとらわれない、地域の人が訪れやすい寺院の環境をつくることによつて、お寺を中心とした新たなコミュニティづくりをめざす。

推進計画

平成二十四年度

・実態調査

・企画・準備

・周知徹底

平成二十五年度

・実施、集約、事例の掲載、普及

・普及

平成二十六年度

・実施、集約、事例の掲載、普及

山陰教区 各組実践目標一覧

組 名	実 践 目 標	組 名	実 践 目 標
1 鳥取因幡組	葬儀を機縁とした教化活動の徹底・住職のスキルアップ・教化活動を担うご門徒の育成・お寺の門戸を広げる活動の展開	11 佐 波 組	高齢社会：高齢者施設におけるこころの支援
2 鳥取伯耆組	日常の寺院活動：地域につながる人と人のつながりの育成	12 川 本 組	子育て支援：キッズサンガによるこどもたちへの支援
3 松 江 組	日常の寺院活動：地域と寺院、人と人のつながりの教化育成	13 千須賀組	高齢社会：高齢者に対する心の支援
4 出 雲 組	日常の寺院活動：法座活動の充実～法座は仏さまの眼差しの中でつながりホッとできる空間です～	14 邑智東組	日常の寺院活動：地域と寺院のつながりを大切にする
5 神 門 組	日常の寺院活動：地域と寺院とのつながりを大切にする 高齢社会：高齢者施設における奉仕活動	15 邑智西組	災害支援：互いに助けあう 自死：標語を掲示し伝道につとめる
6 出雲南組	日常の寺院活動：社会や地域や人びととつながるお寺づくり	16 江 津 組	日常の寺院活動：少子高齢化の進む地域において、いかにみ教えを相続できるのかを考える。
7 飯 南 組	葬送儀礼：葬儀を行う意味と遺族への心の支援	17 浜 田 組	日常の寺院活動：地域と寺院とのつながりを大切にする
8 大田東組	経語を伝えよう：伝道(お取次ぎ)の精度を高めよう	18 三 隅 組	日常の寺院活動：仏事(葬儀を含む)を勤める意味を考える
9 大田中組	日常の寺院活動：地域と門信徒と寺院のつながりを大切にする	19 益 田 組	子育て支援：キッズサンガによる子どもたちへの支援
10 大田西組	日常の寺院活動：地域と寺院とのつながりを大切にする	20 鹿 足 組	高齢社会：高齢社会における子育て支援～高齢者と子どもを通しての縁づくり～

親鸞聖人 750 回大遠忌記念公演
創作劇
「親鸞 わが心のアジャセ」



二〇二二(平成二十四)年九月八日(土)、出雲市民会館大ホールにて、親鸞聖人七五〇回大遠忌記念公演 創作劇「親鸞 わが心のアジャセ」が上演され、九〇〇人を超える皆さまに、演劇をご覧いただきました。

この創作劇は『教行信証』に引用されている「アジャセ王の物語」を元に作られた演劇です。川崎麻世さん、音無美紀子さんを始め、出演者の迫真の演技に多数の感動の声をいただきました。

上演当日、ホールには、東日本大震災の義援金の募金箱が設置され、募金を呼びかける川崎麻世さん直筆の書が掲示されました。

当日の運営には、教化団体の皆さま、山陰教区浄土真宗青年僧侶の会「楽法会」の皆さまのご協力をいただきました。この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

宗会議員選挙報告

この度、任期満了に伴う宗会議員選挙の告示がなされました。山陰教区は僧侶議員(定数二)、門徒議員(定数一)共に、立候補者が定数であったため、無投票となり、以下の三名の方々が選出されました。

(掲載順序は、届出順による)

所 属 邑智東組 西福寺 住職
生 年 昭和二十三年生まれ
現 住 所 邑智郡邑南町原村



小笠原 義宜

所 属 大田西組 浄土寺 住職
生 年 昭和二十四年生まれ
現 住 所 大田市大代町大家



原田 光生

所 属 神門組 長楽寺 門徒
生 年 昭和十七年生まれ
現 住 所 出雲市塩冶町



布野 信之

お仏壇・仏具は やっぱり京都・・・



心に残るご法座を...
Support 750
MADE IN KYOTO

伝統工芸 京仏壇・京仏具

(株) **若林**

www.wakabayashi.co.jp

京都本社/京都市下京区七条通新町東入

☎(075)371-3131 代 年中無休 ☎600-8218

フリーダイヤル ☎0120-37-8585(各店共通)

東京店・築地店・札幌店・仙台店

近江草津店・福岡(営)・新潟(営)

E-mail info@wakabayashi.co.jp

ドレミファ組

新組になつて

大田中組長 毛利 諦 善

今年度より組画編成で大森・仁摩の二組が統合して大田中組となり、二十九ヶ寺で組活動が始まりました。

教化団体として僧侶・寺族・総代・仏婦・仏壮・連研の各部会で研修会を中心に活動がなされています。

仏教婦人会は九月に大田中組として初めての「組仏教婦人会大会」が天河内の満行寺で開催されました。

キッズサンガ部会は「ほとけの子どもサマースクール」を八月に大國の松源寺で開かれ、子ども四十数名が法話やゲーム等を楽しみ、昼食は仏婦の協力により、皆さんでカレーライスをいただきました。

最後にお話を聞き、仏さまの前で夏休みの思い出に残る一日を過ごしました。

テレホン法話「こころの糧」は新たに七名の住職に加わっていただき、宅野の龍善寺住職担当で引き続き実施しています。二十名の僧侶が輪番で行い、毎月一日と十六日に法話が変わります。

電話〇八五四（八八）三三三三三三二十四時間いつでも聴くことができます

ます。

組報「こころの糧」は年一回十月に発行して、組内外の情報を知らせています。

今年度より基幹運動が改められ「御同朋の社会をめざす運動」実践運動としてスタートしました。

八月には各寺院や教化団体の参加のもと「開かれたお寺」「寺院と門信徒と地域とのつながりを大切に」を達成目標として研修会が開かれました。

過疎化と高齢化が進み教化をするためには困難なことが多くありますが「御同朋」「御同行」とお互いに敬愛し、尊いお念仏のみ教えをより広く、より深く伝え、世の平和を願われた親鸞聖人のおこころを大切にまことの人生を歩む実践運動でありたいと思います。

組が一丸となつて門信徒と共に課題を共有し話し合うことを中心とした組活動を進めたいと思います。ご指導とご協力をよろしく願います。称名

平成二十四年十月十三日～十四日、山口県山口別院で四連区管内の門徒推進員研修会が開催され一〇〇余名が集いました。

（一）分科会
ここでは「中央教修で阿弥陀如来に誓った決意表明」にどう対応しているかを話し合いました。各班の報告を要約しますと、仏壮・仏婦・揭示伝道・正信偈勉強会の活動が多く、残された問題が神棚・お寺が民衆から遠のいていく・キッズサンガ・念仏者の社会性でした。私は

暮しのできる教えです。

五班で、座長の四州教区宇和島のSさんは、二〇〇〇人門徒のお寺で、ある行事に音楽を流したら切れと言われショックでした。まず「人を導く力」をつけたいと

何処に往くかを聞けば、ほとんどの人がわからないと答える。阿弥陀如来の世界から母親のお腹に宿り生まれたのです。命

が終われば阿弥陀如来の世界に帰る、帰る世界があるのです。これがわからないのが迷いです。仏

の力で生かされている。有り難いことですと、奥さんの妊娠、出産を例にした熱い法話でした。

翌日は

（二）教区別の活動報告

印象に残るのは山口教区のキッズサンガでした。DVDを上演した後、八三〇年前の服装を工夫して、親鸞聖人五十七場面を七回も練習し、子どもと話し合う素晴らしい体験談でした。

『人を導く力をつけたい』

～門徒推進員研修から思う～

呂智西組 浄蓮寺 小松 満 雄

戦争、殺人、災害、政治的報道の多い中で、宗教的記事がほとんど見当たらない。お寺関連以外の人に注目させる記事の意です。最近のS紙に「混迷に生きる」とか中村元先生の記事は、週に一度ですが勉強になります。教区やお寺の行事などの報道をお願いしたい意です。

※新聞報道

（二）教区別の活動報告
印象に残るのは山口教区のキッズサンガでした。DVDを上演した後、八三〇年前の服装を工夫して、親鸞聖人五十七場面を七回も練習し、子どもと話し合う素晴らしい体験談でした。

戦争、殺人、災害、政治的報道の多い中で、宗教的記事がほとんど見当たらない。お寺関連以外の人に注目させる記事の意です。最近のS紙に「混迷に生きる」とか中村元先生の記事は、週に一度ですが勉強になります。教区やお寺の行事などの報道をお願いしたい意です。

二〇一二年十月十日(水) 中村元記念館が、各界の熱意努力とご支援により開館する運びとなりました。場所は松江市八束町(大根島)町民プラザです。ここは旧八束町役場で、戸籍を収納する書庫があり、これが三万冊を超える博士の蔵書を保管するのに適していることが、会館の場所選定の大きな理由の一つでした。

ご案内の様に、中村博士は、世界的インド哲学・仏教学者として多大な功績を残されました。仏教学において、博士の書籍・辞書に触れた方も少なくないと思います。当宗門に關しましては、ご門主様の東京大学時代の師として、またご媒酌人としての功績もありました。

博士は幼少期に東京に上京されましたが、中村家の法事・島根県での講演や学会等で幾度も帰省されました。その都度、出雲・石見の各地を巡ら



憂 楽 帳

中村元 記念館開館
世界的東洋哲学者 中村博士の足跡を公開
松江組 真光寺 住職
吉田史章

れたとご遺族の方が語っていらっ
しゃいました。

また、東京のご自宅での来客接待時の茶菓子や贈答品として、しばしば松江の和菓子を取り寄せられていたとも聞きました。

今後とも出来るだけ多くの方々にご来館いただき、山陰に縁の深い偉大な哲学者の足跡を、少しでも知っていただき

たいと願っています。

また、記念館の維持存続にご協力下さいますようお願い申し上げます。

合掌

編集後記

今年度から編集委員の一人として加わることになりました。紙面を通してお念仏のみ教えが正しく伝わっていくよう、少しでもお手伝いが出来ればと願っています。政治、経済、文化、教育と様々な面で大きく変化する現代社会の中で念仏者としての生き方が問われている様に思います。

お聖教に聴くことを念頭に、急激な社会変化への対応、教区内の諸問題、親鸞聖人七五〇回大遠忌法要後の宗門や「御同朋の社会をめざす運動」の在り方等々、課題を共有し語り合う場の必要性を感じているのですが・・・。

この教区報が更に充実するよう各組での活動の様子や情報、ご意見、ご要望をお寄せいただければ幸甚に存じます。



『信頼からコミュニケーション』

団体参拝のご計画はお気軽にご相談ください。

株式会社近畿日本ツーリスト中国四国 山陰支店

〒690-0887 松江市殿町517 ☎(0852)22-4893